

# 令和5年度 町政の取り組み状況について

## 1 町政の方向

「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」

～美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまちをめざして～

## 2 令和5年度の重点施策推進状況

### 「(1) 安心して暮らせるまちづくり (コロナ対策関連)」

#### ア 感染防止対策、予防接種

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、5月8日以降、季節性インフルエンザと同じ「5類」に位置付けられ、基本的な感染対策は、「個人の選択を尊重し、個人の自主的な取り組みを基準としたもの」に変更されました。

本町のワクチン接種については、国の方針に基づき、重症化リスクが高い65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する人などを対象に、5月8日から開始し、先月20日から、初回接種を終了したすべての人を対象に秋開始接種を実施しています。

インフルエンザ予防接種については、65歳以上の人、60歳以上で一定の障害を有する人を対象に、接種費用における自己負担額の一部助成を行っています。

また、今年度から、県内の自治体では初めての取り組みとして、50歳以上の人を対象に、帯状疱疹予防接種における自己負担額の一部助成も実施するなど、事業の拡充を図っています。

#### イ 事業者への支援、町内経済対策、町民生活の支援

コロナ禍からの経済再開を目指すとともに、ウクライナ情勢の緊迫化などによる物価上昇や燃油高騰から、町民の皆様の暮らしを応援するため、1人当たり10,000円分の商品券を配布しました。

## 「(2) 安全・安心なまちのしくみづくり（防災、生活環境、交通）」

### ア 消防防災力・防犯体制の強化

町内の防災力の強化を図るため、大規模災害時における救援、救護、復旧活動の拠点となる香美町地域防災拠点の整備計画を7月に策定しました。

現在、計画に基づき、香住区山手を建設予定地として、建築面積約400㎡、鉄筋コンクリート造2階建ての地域防災拠点施設を建設することとしており、今年度中に設計を行い、来年度、建設に着手していきたいと考えています。

### イ 道路網の整備

早期整備が喫緊の課題である山陰近畿自動車道の未事業化区間である佐津 - 竹野間をはじめ、主要地方道香住村岡線の加鹿野 - 三谷間、中野区内、国道482号の長板区内の道路改良などについての早期事業化、さらに、国道482号大谷バイパスⅡ期の早期完成について、国・県に対して要望活動を行っているところです。

なお、国土交通省により鋭意事業に取り組んでいただいている、国道9号笠波峠除雪拡幅事業については、トンネル部分2.4kmが開通する運びとなり、今月22日に開通式が執り行われます。

### ウ 公共交通の維持

昨今の鉄道利用者の低迷により、JR西日本から利用者の極めて低い区間におけるサービスの見直しが打ち出されているなか、新たな利用促進策により、鉄道利用に対する意識向上、鉄道利用機会の増加、鉄道路線の維持を図っています。

また、公共交通の維持確保を図るとともに、運転免許証返納者をはじめとした交通弱者等の移動手段を確保するため、高齢者バス利用助成、高等学校生徒バス通学助成も継続して行います。

### **「(3) 活力あるまちづくり（農林水産業の振興）」**

#### **ア 農業の振興**

本年も、消費者へのPRと生産者の意欲向上に繋げる機会として、来月25日に「香美町おいしいお米コンテスト」を開催します。

また、本町は県下一を誇る「二十世紀梨」の産地であるものの、生産者の高齢化や担い手不足により栽培面積、生産量ともに減少傾向にあることから、4月に「香住なしの学校」を開設し、町内で独立就農を目指す研修生を1人受け入れ、新たな担い手の育成を行うことで、産地の維持に努めています。

さらに、耕作放棄地の増加防止と安定的な農業経営を図るため、将来の農業経営を地域ごとに考えていく「地域計画（人・農地プランから名称変更）」を令和6年度末を目途に策定するとともに、引き続き、中心的担い手や認定農業者の育成、農業法人の設立及び必要な農業用機械器具の導入に対する支援を行います。

#### **イ 畜産の振興**

本年7月、兵庫美方地域「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が国連食糧農業機関から「世界農業遺産」の認定を受けました。これを次世代に継承していくため、世界農業遺産の保全と活用に重点的に取り組み、国内外に向けて魅力を発信するとともに、美方郡産但馬牛の一層の資質向上を目指し、優良系統の維持と生産規模の拡大による畜産業者の経営安定を図ります。

#### **ウ 林業の振興・有害鳥獣対策**

森林資源の適切な管理や有効活用を図るため、引き続き、国・県等と協力して各種事業を展開するほか、森林環境譲与税を活用した条件不利地での間伐等に取り組んでいます。

また、有害鳥獣対策として、猟友会と協力しての捕獲体制の強化、防除柵設置に対する支援で、有害鳥獣被害の軽減に努めています。

## エ 漁業・水産加工業の振興

「香美町の水産を考える会」による漁業・水産加工業全体のあり方の検討を引き続き行うとともに、香住東港水産加工排水処理場の整備更新により、加工排水の適正処理を進め、町内水産加工業者の安定経営の推進に努めています。

また、「香美町魚食の普及の促進に関する条例」に基づき、魚食普及活動への支援を行い、地域の水産物の消費拡大と地域経済の活性化を図っています。

## **「(4) 活力あるまちづくり（観光業、商工業の振興）」**

### ア 商工業の振興

少子・高齢化等により労働力の不足が課題となるなか、在留資格が技能実習又は特定技能ビザの外国人を受け入れる事業者に対して、本年度から、県内の自治体では初めての取り組みとなる「外国人受入費用補助金」を設け、事業者の負担軽減を図ることとしています。

### イ 観光業の振興

「香住ふるさとまつり」を7月22日に4年ぶりに開催しました。町内外から多くの皆様にお越しいただき、大変賑わったところです。開催にあたり、町民の皆様、町内事業者の皆様から多くの協賛金をいただきました。この場をお借りし、お礼申し上げます。

11月からは松葉ガニ、漁の解禁、12月にはスキー場がオープンするなど、本町の地域資源を最大限に活用できるシーズンがまいります。

今後も、コロナ禍前と同様に、各区で多くの観光イベントが予定されることから、多くの観光客に来町いただけるよう努めます。

また、トワイライトエクスプレス瑞風が10月14日から香住駅に停車する予定となっています。町民の皆様の歓迎をお願いします。

## ウ 観光施設の整備

令和4年度に着手しました吉滝園地遊歩道整備工事は、8月31日に完成しました。

本年度は、岡見公園公衆トイレ増築工事、余部鉄橋空の駅エレベーター設備修繕工事、但馬高原植物園瀨川平湿原の遊歩道新設工事を行い観光客の皆様が快適に過ごしていただくよう整備を進めています。

## エ 観光業、商工業の雇用対策の推進

県の認定第1号となった「香美町地域づくり事業協同組合」が行う、複数の仕事を組み合わせた新たな働き方(マルチワーク)により、安定的な雇用や移住者等の雇用を創出し、新たな地域づくり人材を確保する取組を支援しています。

## 「(5) 将来を担うひとづくり(移住定住、結婚、子育て、教育)」

### ア 移住定住対策の推進

「まちなか移住相談室」を香住区内に開設し、オンライン及び対面による移住相談や、移住希望者等へ町内案内を随時行っています。

また、移住定住支援ウェブサイト、各種SNSなどを活用して、町出身者や移住希望者に対し、空き家や本町の豊かな魅力など発信し、移住の促進、まちの活力向上を図っています。

あわせて、移住活動に協力いただいた区、自治会に対して定住支援活動奨励金を交付し、空き家登録物件の拡大に務めるとともに、今年度から、空き家利活用促進支援補助金を拡充し、移住希望者の選択肢が広がるよう努めています。

### イ ふるさと納税の推進

本町のふるさと納税寄付額は、毎年飛躍的に伸び続けており、昨年度は過去最高額となる、8億9,741万9千円のふるさと納税をいただきました。

寄附金が増えることで、まちの将来像である「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」の実現に向け、有効な取組の財源として活用できていることから、今後も、さらなる増額を目指し、事業者との連携を強化し、魅力的な返礼品の開発や品目の拡充、PR体制の充実などを推し進めます。

## ウ 結婚支援対策

昨年度に引き続き、町内の若者が結婚や子育て、仕事を含めた人生設計を考えるライフデザイン構築支援事業に取り組んでいます。若者の町外転出を防ぐため、「地元で働く」ということを焦点にした高校生向けセミナーを開催します。

また、職場以外で若者同士が交流し、恋愛・結婚への意識付けや準備へと自然に発展していくための居場所づくりも進めており、引き続き、若者の多様性や意思を尊重した結婚支援対策に取り組めます。

## エ 妊娠・出産・子育て支援の充実

今年度から、町独自の子育て施策として、子育て相談支援事業などを利用された際に2万円分の「オムツ券」を交付する「かみっこオムツ券交付事業」を新たに開始するなど、伴走型相談支援の拡充を図りながら、切れ目のない子育て支援に努めています。

また、医療保険適用の有無に関わらず、不妊検査及び治療に要した自己負担額の一部助成を実施しており、不妊に悩む夫婦の経済的な負担を軽減することにも取り組んでいます。

## オ 子育て・子育て環境の充実

障害のある児童を一時的に預かることで、放課後の居場所の確保及び保護者の就労等を支援する「日中一時支援事業」を運営する事業者に対し、継続して支援を行うことで、児童福祉の向上を図っています。

また、児童福祉法に基づき、療育が必要な18歳未満の子供に対し、児童相談・児童発達支援サービスを行う障害児通園施設に対し、支援をすることで、子育て環境の向上を図ります。

## カ 給食費の無償化

著しい少子化が進むなか、子育て世代への支援をさらに充実するため、今年度から、県下で2番目の取組となる就学前施設、小・中学校の給食費の完全無償化を実施しました。

## キ 魅力ある教育の充実

昨年10月から香住区の小学校等の再編に向け、各種代表者による「香住区小学校等再編検討委員会」を設置し、これまで、統合の方式、校舎、校名、校歌、校章、通学方法、放課後児童クラブの配置などについて検討し、確認をしました。

それらの内容について、保護者や地域の皆様に説明しご理解いただくため、来週から香住区内4会場で説明会を開催します。

## ク 学びの保障・充実

学習者用デジタル教科書が、令和6年度から本格導入されることを受け、小学校5年生から中学校3年生までを対象とした国の実証事業に加え、町独自に小学校1年生から4年生までに1教科の学習者用デジタル教科書を導入しています。引き続き、全ての指導者による学習者用デジタル教科書の活用と可能性を広げる取組を行い、児童生徒の学びの充実を図ります。

## ケ 教育環境の整備

本年度は、小代小学校の校舎及び香住第一中学校の普通教室棟の照明設備のLED化、兎塚小学校の校舎の老朽改修工事を行うとともに、小代中学校体育館の大規模改修工事に向けた設計を進めています。

## コ スポーツの振興

多くの町民が豊かなスポーツライフを楽しみ、健康な暮らしに繋がるよう、スポーツ振興計画に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。来年1月には、スキー競技のオリンピックを本町にお招きし、技術講習会を開催する予定としています。

また、山岳縦走登山などスポーツツーリズムの推進を図るほか、生涯スポーツや高齢者向け運動教室を拡充し、引き続き、町民のスポーツを支援します。

## サ 芸術文化の振興・文化財の保護

町民が先人から受け継いだ文化を学ぶとともに、新たな文化を育むまちを目指し、芸術文化振興の基本計画の策定を進めています。

また、多様な芸術文化に触れる機会を創出するため、先月、豊岡演劇祭 2023 香美町公演やクラシックピアノコンサートを開催しました。

文化財の保護については、先月、黒野神社内町指定文化財の屋根の修繕が完了しました。また、町指定文化財の標柱を設置し、身近な文化財への関心を高める取組を進めています。

## (6) 安心な暮らしづくり（保健、医療、福祉）

### ア 健康づくりの推進

昨年度に実施した健康づくりに関するアンケート結果から「第2次健康増進計画」における取組を評価・分析し、生活習慣病をはじめとする健康を取り巻く様々な課題と対策について次期の健康増進計画の策定を進めています。また、健全な食生活の実践と豊かな人間性を育てる取組を推進していくため「第3次食育推進計画」の策定を進めています。

町ぐるみ総合健診として特定健康診査やがん検診の受診促進を図りながら、今後も、町民の皆様がいつまでも健康で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

### イ 公立香住病院の運営

令和3年度から進めていた透析室、リハビリ室及びカメラ室等を備えた東館の新築工事が、本年6月に完了したところですが、来年3月までに、玄関スロープの設置が完了し、来年度には、フェンス等の外構工事を予定しています。

現在、兵庫県からの派遣医師3名を含む7名の常勤医師により、安定した診療体制で患者様を受け入れています。今後も、医師及び医療技術者の確保に全力で取り組むとともに、病院経営の効率化に努め、将来にわたり持続可能な病院経営を目指します。



## ウ こころの健康づくり対策

引きこもり状態にある人の居場所づくりとして、香美町保健センター内に「ひきこもり支援センター」を開設し、相談支援等の充実を図るとともに、自殺対策の取組としてゲートキーパー養成研修等を開催するなど、一人で悩みを抱え込むことの無いまちづくりを進めています。

## エ 高齢者福祉の充実

令和6年度から3年間を計画期間とする「第9期香美町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」について、来年2月の策定を目指し、取り組んでいます。今後も、更なる「介護予防の推進」、「認知症施策の推進」に取り組めます。

また、喫緊の課題である介護業界の人材不足については、今年度から町内の介護サービス事業者で「介護職員としての外国人労働者の雇用」が図られ、現在13名の方が従事されており、12月末には新たに3名を受け入れる予定です。

## オ 障害者福祉の充実

令和6年度から6年間を計画期間とする「第4期香美町障害者福祉計画」について、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」と同様に、来年2月の策定を目指し、取り組んでいます。今後は、既存の事業の継続のほか、町有の障害福祉サービス施設の更新及び新たな施設の設置について協議することとしています。

## (7) 住民サービスの向上（行財政運営）

### ア マイナンバーカードの取得促進

マイナンバーカードについては、全国で、システム上の問題、人為的なミスなどによる様々なトラブルが発生し、町民の皆様にもご心配をおかけしているところですが、幸い、本町においては、全国で発生した事案についての報告はなく、システムが原因で発生していたコンビニの誤交付についても、違うメーカーのシステムを採用しているため、現在のところトラブルの報告はありません。また、各種事務とのマイナンバー紐づけについても、問題はなく、国の総点検の対象とはなっていません。

本町のマイナンバーカードの申請状況については、9月末現在で94.7%の方に申請いただいているところです。本年度は、スマートフォンの操作に慣れていない方、役

場まで直接来られない方などに対し、希望者のご自宅等に職員が出向き、申請の受付を行うことで、マイナンバーカードを郵送で受け取れる個別訪問サービスを開始しています。

今後も、関係機関と連携を図り、トラブルの防止に努めるとともに、町民の皆様のマイナンバーカードの取得を支援します。

## イ デジタル化の推進

国が進める「情報システムの標準化・共通化」により、令和7年度までに標準化基準に適合したシステムへ移行することが義務付けられているため、本年度よりシステム間の差異への対応を開始しています。令和6年度以降はシステムの導入及びネットワークの再構築、関連システムの改修へ順次着手する予定としています。

また、自治体DXを推進するため、4月に策定した「香美町DX推進計画」に沿った施策を展開することで、行政サービスのデジタル化による町民生活の利便性向上を図るとともに、庁舎内業務の効率化を推進します。